

野々市市まちづくり基本条例策定委員会 第2回 いいまちづくりって何だろう？ <いいまちづくりの要素>

こういうまちにしたい What	特徴のある街並	ゾーン分けして特徴を出す	市全体がゾーン（役目）が明確な街	
		憩いのある街並	街並の整備必要 憩いのある落ち着いた街並ほしい	
		緑の多いまち	緑の多いまちづくり	
		誇りをもてる施設	誇りをもてる施設 バス停オーナー制度を導入したノッティバスの拡充	
	交流できる施設、 拠点+仕組み	交流できる施設	自然体で交流できる施設	
			地域サロンを作る。	
		市民活動の拠点	市民センター的な施設	
			使いやすい施設、スポーツセンター等 今の図書館を社会活動の拠点に 市民活動の拠点が必要	
		活動の拠点があり、情報が集まる	自由に使える場所（時間も遅くまで） 活動の拠点、情報が集まる場がある。 活動している人の情報発信が活発 団体同士のマッチングを行っている	
		市民が交流できる場がある	市民同士が交流できる場がある 図書館が古い コミュニティセンターのような機能が欲しい	
	使い勝手のよい施設	施設の部屋が12時まで借りられる		
		施設の部屋が一年中借りられる 施設の部屋の予約解約がインターネットですぐにできる 施設の部屋が無料で借りられる		
伝統文化の継承	伝統文化の継承	芸術文化があふれる街 地域の祭りが続いている		
	歴史、伝統を継承する	野々市マイスター制度（歴史、ビオトープなど） 伝統芸能はあるが地域限定。幅広い交流が必要 祭りの継承 神社や寺の境内を活用（北国街道）		
	伝統文化を通じたまちづくり	まつり（伝統文化）を通じたまちづくりをすすめる		
こういうまちづくりをしたい How	多様な主体、交流	大学（学生）との交流	カメラアで実施しているプロジェクト事業（財団と工大生のコラボによる） 市の課題解決に大学が参加	
		多様な主体が活躍できる	学生が活躍できる場があること 産学連携 野々市市学の確立、講演、シンポ開催 野々市まちづくり学 特技を持ったまちの先生に子供が習う場がある	
		高齢者と若い人の交流の場	子供が地域にもっと愛着を持つ 若い人（20代、30代、学生）が参加する活動、イベントがもっと多い	
		子供と年寄りにやさしい町はみんなにやさしい！！	チヨリ村（岐阜県）葉→サラダ、芋→焼酎 NPO、はづちを楽堂（山代）1コイン朝食、一人暮らし 子供	
		若い世代 団塊世代 まちづくり活動できる人を支援、仕	学生が事業を提案 60歳以上が活動する	
		参加しやすい仕組み	清掃活動やイベントに参加すると施設や商店街で使用可能なポイント	
	行政との関係	地区割を考える校下制との整	分かりやすい地区割り 校下が地区	
		行政の行き詰まりを市民が対	行政の行き詰まりの対応	
		市民と行政が近い	市民（団体）と行政の距離が近い（鯖江） 行政職員の受入体制がある	
		行政が後押しする	行政が後押し 基金をつくってほしい	
	市民の意見を反映	行政の情報が手に入りやすい	よく行くところに行政の情報 FBでも興味がわく内容を情報提供	
		役所らしくなく	いかにも行政というイメージを払拭 湯涌アニメ（花咲くいろは） Iターン者による「よそ者」ならではの視点での、そのまちの売りを作り出す 最大公約数ではない施策が実現できる	
何のためにやるか Why	郷土愛	市民の意見が反映できるまちづくり	陳情で物事が決まらないこと 市民の提案を実現しようとする市の対応 市民の力を結集できる組織とまちづくり	
		多様化するニーズへの対応	市民ニーズの広がりへの対応	
	楽しさ	ふるさと（野々市）納税の推奨、特産品を特典に謝礼		
		ふるさと教育の支援する（地域愛教育） まちをつくる（ふるさとづくり）		
	地域の誇り	参加する人が楽しい		
		参加している意識がなくてもまちづくりに参加している気軽さ 自分にメリットのある		
	住み続けられる	ゆりかごから墓場まで一生暮らせる街づくり		
	地域の活性化	市民が主体 町、町づくり（地域）		
	外部から評価してもらえる	外部から評価してもらえる（人を呼び込める）		